

通信小海

「夫婦の倫理(2)」

牧師 荒初 実
あらかみ まこと

エペソ人への手紙から夫婦の倫理について、今回は夫に対する勧めをみてみましょう。

パウロ(エペソ人への手紙の著者)は、夫の妻に対する愛について「キリストが教会(キリストに召された者の群れ)を愛されたように」と教えています。キリストが十字架の上で流された尊い血潮によって、教会のために犠牲を払い、教会を愛された愛です。それは、とりもなおさず、人類のすべてに注がれているキリストのいのちがけの愛です。その愛を指して、夫は妻を愛するようにとパウロは勧めているのです。「愛する」とは「死んでもいい」と思うことだと言った人がいます。果たして「愛している」と言いながら、妻のために

「今月のみことば」 「夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。」
エペソ5:25

命を捧げるほどの愛をもって心を配っている夫はどれくらいいるでしょうか。

パウロは夫の妻に対する愛が自己犠牲の愛であると教えるのと同時に、「自分の妻を愛する者は自分を愛する者である」と、夫と妻の一体性を根拠に教えています。創世記に「それゆえ、男はその父母を離れ、妻と結び合い、ふたりは一体となるのである。」と記されている通りに、夫婦は一体であり、夫が妻を愛することは、すなわち自分を愛することだからです。だけれども、自分のことであれば、犠牲をいとわないものです。自分を愛することだと思えば、妻を愛することも難しくはないはずで

す。パウロは夫婦が一体であるのと同じように、教会とキリストが一体であると教え、キリストがご自身を犠牲にされ、教会を愛された、その姿に倣い、妻を愛するよ

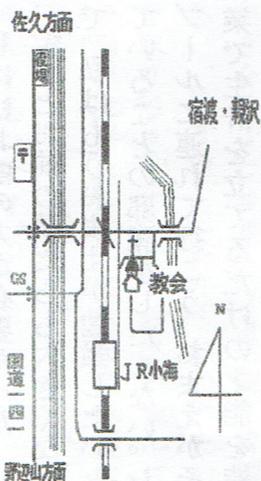
日本同盟基督教団 小海キリスト教会

南佐久郡小海町大字小海四三五・二七

〒三八四・一〇二 TEL 0267・88・7169

〒振替 00530・0・61683

見晴台の教会へどうぞ



集会あんない

日曜日 朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後八時から九時

金曜日 聖書の学び 午後八時から

*個人的な聖書勉強や個人的なご相談にも乗ります。*初めてのの方も遠慮なくお越しください。

※当教会は正当なプロテスタントの教会であり、エホバの証人・統一協会とは一切関係ありません。

うにと勧めています。キリストの教会に
対する愛を模範にするならば、夫の妻に
対する愛は、犠牲的で、相手のために尽
くし、相手を建て上げ、育て養うもので
あるべきことが分かります。

前回、妻の夫に対する態度は、教会が
主（キリスト）を畏れ、主に従うように、
心から喜んで従うことであることを学び
ました。この妻に対する夫の愛と妻の服
従の双方が、夫婦の倫理の基盤です。互
いに愛し仕え合うところに夫婦の一致が
あり、神様から祝福された家庭が建設さ
れていくのです。

争いの絶えない夫婦関係では、本来懸
いの場である家庭が戦場となってしま
います。子どもたちが安心して居られる家
庭を建設することは親の責任です。どう
したら愛の溢れる家庭を建設できるか、
その答えは聖書にあります。共に考えて
まいりましょう。教会は、いつでもあな
たのお越しをお待ちしております。



連載

信仰の眼で読み解く絵画



第二章 ミレー

岡山 敦彦 【著】

〜農民画家としての信仰の生涯〜

③

人にはそれぞれ神から与えられた
特別な賜物、能力があります。

ミレーは、黙々と父親の仕事を手伝

いながらも、漠然と絵画への思いが深
まって行くのを感じ取っていました。

聖書の古い挿絵を見ては、模写してみ
たいと思っていました。また、昼食の

休憩時間に、目の前に広がる風景、彼
の仕事場である畑や家畜小屋を写生

するようになりました。父親は、ミレ
ーの絵画に対する興味と彼の能力を

認めざるを得なくなりました。もちろ
ん、農家の後継ぎの長男として育てら

れたミレーの口から、自分は画家にな

りたいなどとは決して言えませんでした。
けれども父親は、いつも一緒に仕事
をしながら、デッサンをしているミレー
を見て、彼の絵画への思いを見逃すこと
はなく、彼が十八歳の時、その重い口を
開いて言いました。

「フランソワ。お前が画家になりたいこ
とは以前からよく分かっていた。世間で
華やかだと言われている画家の仕事を
習わせてやろうと思ったこともあった
が、私にはできなかった。おまえは長男
だし、私にはお前の力が必要だった。し
かし、やつとお前の弟たちも大きくなっ
たので、私はもうおまえが勉強したいと
思っていることの邪魔をしたくない。シ
ェルブルに連れて行こう。おまえがそ
の職業で生計を立てるだけの才能を持
っているかどうか分かるだろう。」

この父親の言葉に私は大きな感動を
感じます。彼の内には神様から与えられ
た素晴らしい知恵と子どもを将来を考
える父親としてのしつかりした考えと
愛がありました。

〈続く〉

ニチニチソウ

日日草・日々想



耕して生きる

改めて農業の大変さを覚えさせられていきます。大地を耕し、作物を植え、収穫をするという営みには、人間の力ではどうすることもできない領域が多く含まれています。人にはコントロールできない天気や自然の力と絶えず向き合い、計画通りにいかない苦勞が本当に多く、それゆえに、人間を越えた存在に創造主である神様を近くに感じることのできる仕事であるとも言えるのではないのでしょうか。厳しさと同時に、神様が最初に人間に与えられた仕事であり、神様の恵みを肌身で感じることのできる特別な尊さがあると思います。

我が家にも小さな畑があり、半ば実験的(?)に植えてみて、収穫を期待している野菜たちが葉を茂らせています。畑仕事初心者の私たちにとって、植える前の準備の大切さには、教えられるところがたくさんありました。

いきなり種を蒔いても、良い実の収穫は期待できません。土を耕し、植えられたものが十分に根をはることができると、そこに雑草の根や小石など、取り除くべきを取り除き、肥料をまいて整える。その前段階があつてこそ豊かな収穫なのです。

「ああ、そうだ」と聖書のみことばを思い出しました。

「あなたがたは耕地を開拓せよ。」
私たちの人生においてもまた、豊かな実を結ぶためには、耕地を開拓するとい

う骨の折れる仕事を避けて通れないのです。本当の耕地開拓は、雑草の根や小石などといった甘いものではなく、切り株や木の根、岩を取り除かなければなりません。同じように、自分の心のうちに

も取り除くのが大変そうな頑固な岩や根っこがあり、十分に耕されていない部分、あるいは新たに切り開くべき所もまだまだ多くあることを示されます。そこが整えられれば、きつともつと豊かな神様の恵みを頂けるのでしよう。

向き合わずに放置してきた罪、身勝手な思い、自分のことばかりといった心の岩を取り除き、柔らかに耕された心に恵みの雨が注がれる時、後の日の収穫に対する希望をより確かに持つことができれば、と思えます。

作物も、突き詰めて考えれば人間の準備や努力だけでは突らないのと同様に、人生の実も、豊かに突らせて下さるのは神様なのだということをお忘れずに、その収穫を頂く備えは、絶えず手を抜かずにしていかなければ……

青空の下で土や植物に触れている心地よさを感じながら、「生きること」すなわち「耕すこと」なのだと思ふことでした。

暮らしの くすりばい

《今月の処方箋》

◆疲労回復に『レモン酢』◆



暑い毎日、疲れが抜けない...といった方
にお勧めレシピをご紹介します！

簡単に作れて、疲労回復だけでなく、免
疫力アップや便秘解消、リラックス効果も
期待できる『レモン酢』。お試しください♪

《材料》

○レモン...2個 *なるべく国産のもの

*よく洗って輪切りに

○お酢...400ml

○はちみつ...60g

材料すべてを瓶に入れ、一晩寝かせて

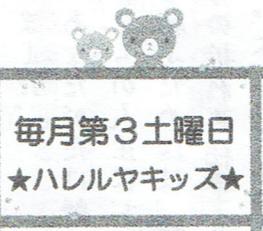
完成★

《飲み方》

●3倍を目安に水等で割って飲む



●空腹時を避け、摂り過ぎに注意(一日
15〜30ccまで)
●酸が強いため、飲んだ後はうがいや歯
磨きを



毎月第3土曜日
★ハレルヤキッズ★

8月は19日です★
冷たいデザートを
作って食べよう♪
遊びに来てね
^-^

毎月手に取り、お読み下さる皆さ
ん、ありがとうございます。

先月、読者の方から「最近、字が
小さくなって読みづらい」というご
意見を頂いたため、今月、文字サイ
ズを調整し、印刷の濃さに気を付け
ました。

今後も、紙面に対するご意見やご
要望、お気づきの点がございましたら、
ぜひお知らせ下さい。
改善に努めてまいります。

路上生活者支援

山谷(やま)農場

ありがとうございます

タオル、石けん、割り箸、海苔、梅
干し、これらを郵送する費用に充てる
未使用切手やハガキ(書き損じ可)、よ
ろしくお願いいたします。

※お米は受付休止中です

《連絡先》 藤田 寛

TEL 090・1436・6334

FAX 042・786・2088

メール nyoro@beige.ocn.ne.jp

《物資送付先》 小海キリスト教会、また
は、南牧村社協へ。〒384・1302南
牧村大字海ノ口966・15南牧村社会
福祉協議会気付 山谷農場

*着払い送付はご遠慮ください。

*土曜日の配達指定をお願いします。

山谷農場事務局(藤田) 小海町芦谷ヒルサ
イドコーポ一〇二号室 毎週土曜
カンパ:〒振替〇〇二四〇・四・五三七九